広報資



平成26年1月1日

103

12月3日~9日は障害者週間です

新年のご挨拶2 第63回滋賀県身体障害者福祉大会 3~4 要望活動・第33回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会 他
- 同様のパラと等 障害者福祉センターコーナー

滋賀県立障害者福祉センターのご案内

ご利用時間 午前9時30分~正午・午後1時~4時30分・午後5時30分~8時30分休所 日 月曜日(休日を除く)・「休日」の翌日(土曜日・日曜日または「休日」である場合を除く)・12月29日~翌年1月3日・管理者の指定日時

電話 077-564-7327 FAX 077-564-7641 E-mail:webmaster@shiga-fukushi-center.com http://www.shiga-fukushi-center.com/

~第63回 滋賀県身体障害者福祉大会 平成25年11月3日(日)「東近江市立八日市文化芸術会館」にて ~



新年あけましておめでとうございます 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます



新年のごあいさつ

公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会 会 長 中 村 裕 次

新年を迎え、身体障害者福祉協会に多大なご理解とご協力をいただいております関係者の皆様方に、心より新春のお慶びを申し上げます。また、私がこの重要な職責を務めさせていただくことができますのも、会員の皆様方をはじめ、多くの関係各位の温かいご支援の賜物と深く感謝しております。

さて、国においては、昨年4月から「障害者総合支援法」が施行され、6月には「障害者差別解消法」

が成立し、平成28年4月からの施行をめざし基本方針等の整備が進められています。この障害者差別解消法には、差別の定義がなされておらず、合理的配慮の提供について、国や地方自治体は法的義務としていますが、民間については努力義務とされていることなどの課題を残しています。また、紛争解決の仕組みについても、新たな組織を設けず、既存機関の活用をうたうにとどまっていることから、今後法律の施行にあたり必要な規程整備が求められるところです。

また、県においては、「新・障害者福祉しがプラン」により「共生社会の実現」に向けて、取り組みが進められていますが、障害者を取り巻く環境はまだまだ厳しく、地域で暮らし、働き、活動するため、取り組みの充実が求められているところです。

当協会は、公益財団法人として、これまで以上に不特定多数の障害者の方々への利益の増進に寄与するため、障害者に対

する施策や制度をより良いものになるよう、障害者一人ひとりの声を大切にしながら力を合わせて取り組みを進めていく所存です。そして、「だれもが地域で安心して暮らせるまちづくり」、「ともに生きる地域社会づくり」を目指し、役職員が一丸となってこれら諸問題の解決・達成に向けて積極的に取り組んでまいりたいと存じますので、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



最後になりましたが、新しい年が幸多い年でありますとともに、皆様のますますのご健勝と ご活躍を心よりお祈りいたしまして、私の新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

滋賀県知事 嘉田 由紀子



あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、2020年夏のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決 定しました。招致活動においては、大津市出身でフェンシングの太田雄

貴選手も活躍され、開催が決定した瞬間、大粒の涙を流し、喜びを爆発させる姿には感動いた しました。



滋賀県におきましても、2024年の国体・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて本格的に準備をはじめました。こうしたスポーツの祭典の開催を契機として、本県のスポーツ振興、選手強化施策はもちろんのこと、スポーツを通じた県民の皆さんの健康増進や地域経済の活性化、さらには共生社会の実現にもつながるよう尽力していきたいと考えております。

さて、滋賀県では、「地域で暮らし、働き、活動することの実現」を目指した「新・障害者しがプラン」に基づき施策を進めており、これまで働き・暮らし応援センターによる障害のある方の就労サポートに加え、生活介護事業所やグループホームなどの日々の活動や住まいの場の整備に努めてきたところです。今年は計画期間の仕上げの年に当たることから、プランの実現に向けた取り組みをより確実に進めるとともに、これまでの成果をふまえた次期「障害者プラン」の策定にも取り組んでいきます。次期プランについては、貴協会の皆様をはじめ、様々な方のご意見を伺うことで、より充実した内容にしたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

本年も、県民の皆さんの願いや思いを大切に、「滋賀に住んでよかった」、「滋賀にこれからも住み続けたい」と思っていただけるよう、カー杯取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からお祈り申しあげます。

第63回 滋賀県身体障害者 福祉大会

11月3日(日)に東近江市立八日市文化芸術会館ホールにおいて、県知事をはじめ多数のご来賓の出席をいただき、県内各地から約780人もの多くの方々の参加のもと、「第63回滋賀県身体障害者福祉大会」を盛大に開催することができました。

式典においては、滋賀県知事表彰を7人が、滋賀県身体障害者福祉協会会長表彰を18人が受賞され、日野町の中沢敏男氏が代表として謝辞を述べられました。また、議事は、大会宣言と大会決議が満場一致で採決されました。

来年度は、草津市において、草津・守山・栗東・野洲の 4地域共催で開催されますので、多くの皆様のご参加を お待ちしています。



講演

「当事者を主人公にした 『地域福祉=福祉でまちづくり』 をめざして」

大阪教育大学教育学部 准教授 新崎国広氏を招き、「当事者を主人公にした『地域福祉=福祉でまちづくり』をめざして」と題して講演をしていただきました。

肢体不自由児施設で生活支援員として21年間働かれた経験談をもとに、当事者の視座になって考え、社会との関係に焦点を当てることが重要として、これからの地域福祉は公的なサービス等による「公助」だけでなく、当事者や家族同士が助け合う「自助」、地域等を基盤としてお互いに支え合う「共助」の3つの視点が必要であり、自分の新しい生き方を再発見するためにも地域活動に積極的に参画してほしいと参加者に力強く話されていました。

平成25年度 滋賀県知事表彰・被表彰者

	更生援護功労者														
市	町	名		氏	名	市		町	名		氏	名			
大	津	市	吉	田	至	青	Ī	津	市	丸	山	菊	男		
大	津	市	中	澤	功	E	}	野	町	中	沢	敏	男		
彦	根	市	Щ	中	泉										

	自立更生者													
市	囲丁	名	氏	名	市町名	氏	名							
彦	根	市	辻	厚 行	東近江市	澤村	康夫							

平成25年度 公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会 会長表彰·被表彰者

更生援護功労者														
市	町	名		氏	名		市	町	名		氏	名		
大	津	市	塚	本	郁	夫	湖	南	市	久	田	三司	代	
大	津	市	中	井	笑	子	甲	賀	市	井	場	道	夫	
彦	根	市	中	Ш	安	夫	甲	賀	市	東		俊	男	
彦	根	市	早	Ш	浩	司	東	近江	市	児	玉	哲	和	
長	浜	市	舞	靍	正	行	東	近江	市	青	Щ		茂	
長	浜	市	脇	坂	保	生	東	近江	市	田	中		弘	
野	洲	市	町	田	晴	彦	日	野	町	久	野	千息	子	

	自立更生者														
市	町	名	氏		名		市	町	名	氏		名			
大	津	市	中	西	健	治	甲	賀	市	朝	重	幸	子		
大	津	市	中	Ш	孝次	欠郎	甲	賀	市	田	村	雅	彦		

第 63 回 滋賀県身体障害者福祉大会 大会スローガン

- ●全市町において、早期に災害時の要援護者名簿が完成され、避難支援対策が整備されるよう働きかけよう
- ユニバーサルデザインのまちづくりを目指し、関係機関等と連携を図られ着実に取り組まれるよう働きかけよう
- ●法定雇用率の達成と就労支援の充実により、障害者が安心して働ける環境が確保されるよう働きかけよう
- ●「障害者週間」が県民に広く周知徹底されるとともに、障害の有無によってわけ隔てられることがないよう働きかけよう

第63回 滋賀県身体障害者福祉大会宣言

国においては、障害者権利条約の批准に向けた制度改正が進められ、本年4月からの「障害者総合支援法」の施行に続き、6月には「障害者差別解消法」が成立し、平成28年4月からの施行をめざし、基本方針等の整備が進められている。また、県においては、「新・障害者福祉しがプラン」が昨年3月に策定され、必要なサービス提供体制等「共生社会の実現」に向けて取り組みが進められている。

県内から多数の障害者が参加し、思いと願いを結集しアピールする「第63回滋賀県身体障害者福祉大会」を開催することは大変意義深く、この大会を一つの契機として、「だれもが地域で安心して暮らせるまちづくり」をめざし、障害者自らが社会参加の推進に努めるとともに、法制度や施策の充実を提言するなど重要な活動をしていかなければならない。

本大会に参加した私達は、障害者の自立と社会参加を一層推進するため、障害の有無によって分け隔てられることなく、人格と個性を互いに尊重しあい共に生きる社会の実現のため、実践に努めていくことを誓い、ここに宣言する。

平成25年11月3日

公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会 第63回 滋賀県身体障害者福祉大会

第63回 滋賀県身体障害者福祉大会決議

- 1. 「新·障害者福祉しがプラン」の推進にあたっては、障害者にとって必要なサービスが、いつでも、どこでも利用できるよう、また、各福祉 圏域間で格差のないよう提供体制等の整備を要望する。特に、各市町における重度訪問介護や同行援護についての適切な支給決定と事業所の整備が行われるよう要望する。
- 2. 障害者福祉サービスの利用は、65歳以上の障害者が要介護または要支援状態となった場合は、原則、介護保険制度に定める保険給付が優先される。このため、引き続き、同様なサービスを同様な負担で適切に利用できるよう施策の充実を要望する。
- 3. 災害対策基本法の改正により定められたとおり、全市町において要援護者名簿が早急に完成されるよう支援されるとともに、障害者団体も含めた関係機関・団体の支援ネットワーク体制の整備により個別支援計画が策定されるよう要望する。また、全市町において、バリアフリー化された福祉避難所が設置されるよう要望する。
- 4. ユニバーサルデザインのまちづくり実現のため、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」や「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の基本方針をふまえた目標に基づき、関連する制度や関係機関等との整合・連携を図られ、公共交通機関、道路、公共施設において着実な取り組みが推進されるよう要望する。
- 5. 障害者が地域で暮らすために、情報の取得・利用は不可欠であり、視覚障害者や聴覚障害者に対する情報提供や意思疎通などの情報・コミュニケーション支援の充実強化が図られるよう要望する。
- 6. 本年4月から引き上げられた法定雇用率が達成されるとともに、雇用と福祉の連携による就労支援や職業訓練の充実により、就職率の向上を図られたい。また、障害者が継続的に安心して働くことができる環境についてより一層整備されるよう要望する。
- 7. 「障害者差別解消法」の施行に向けて、社会的障壁を取り除くために必要かつ合理的な配慮が必要となってくる。特に重要となる学校教育の中で、障害に対する理解を深める教育がより一層充実強化されるよう要望する。

以上決議する。

平成25年11月3日

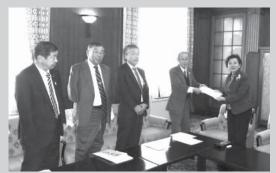
公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会 第63回 滋賀県身体障害者福祉大会

障害者施策に関する要望について

当協会は公益財団法人として、共生社会の実現に向けて、不特定多数の障害者の利益の増進に寄与するた めに、障害者の更生福祉の増進と社会参加の促進を図るための様々な事業を障害者団体や地域の方々ととも

に力を合わせて取り組んでいるところですが、なお厳しさが続 く社会経済情勢のもとで障害者の暮らしへの影響は大きく、障 害者施策の一層の充実と支援が求められています。

去る11月3日(日)に東近江市立八日市文化芸術会館におい て「第63回滋賀県身体障害者福祉大会」を開催し、多くの障害 者の参加のもとに決議された7項目の要望事項について、当協 会として11月14日(木)から27日(水)にかけて、知事や関係部 局、県議会に対して要望活動を行いました。



第33回 日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会 第15回 日本身体障害者団体連合会近畿ブロック身体障害者相談員研修会

10月18日(金)京都テルサにおいて、第33回日本身体 障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会および第15回 日本身体障害者団体連合会近畿ブロック身体障害者相談 員研修会が開催され、当県から34人が参加しました。



午前の福祉大会では、議事の中で昨年度当番県であっ た当協会から前年度決議事項処理報告を行いました。 また、障害者総合支援法の附則で提示された検討事項の 早期着手や「障害者差別解消法」の施行に向けた規程の 整備等、障害者基本法の理念に沿った施策の実現と条約 の早期批准に向けた10項目の大会決議が採択されまし た。午後からは厚生労働省相談支援専門官の遅塚昭彦氏 による「障害保健福祉施策の動向等について~身体障害 者相談支援を中心に~ |と題した講演が行われ、障害者 総合支援法等の法制度や計画、また、相談支援の利用状 況等について説明していただきました。来年度は大阪府 での開催となります。

青壮年部地域交流会 in 高島

と感じた。」と経験を基にした意見が出ました。また、ビ

11月24日(日)新旭公民館にて「青壮年部地域交流会 in 高島」を開催しました。この地域交流会は、各市町の 障害者の方と更(厚)生会の会員との交流を深めるとと もに青壮年部層の発掘に努めて活動を活発化すること を目的として、今回初めて高島地域において開催し、関 係者含めて34人の参加がありました。

青壮年部と高島市身体障害者更生会の紹介を行った 後、「災害時に困ったこと・現状について」をテーマに、高 島市社会福祉協議会の西村一真氏にも参加いただき、台 風18号での被害状況を中心に意見交換を行いました。 参加者からは「避難する中で地域とのつながりが必要だ ームライフル体験も行い、10点満点が出ると歓声が上 がる等、楽しく有意義な地域交流会となりました。



わが地域の「がんばり日記」

平成25年度地域等組織活性化事業の報告 「身体障害者からみた防災対策事業」

湖南市身体障害者更生会

つい先の台風18号で災害にあったり、避難された会員の方もいたと聞いています。お見舞い申し上げます。最近、災害がより身近になってきたように感じます。

さて、今般は9月22日(日)に行った「身体障害者からみた防災・減災対策」をテーマに開いた講演会の内容をご報告致します。講演者は福島県より湖南市に原発避難された富岡町出身の方です。数々の写真と実際の生の声を聞くことができました。話の中で幾つかの印象に残った言葉を紹介します。・・・・「2秒で分けた生死、遅かったら通れなかった」、「避難所はどこでも人人人、寒さと食って寝る、命をつなぐだけ(生活はない)」、「家があるのに富岡町の自宅に帰れない現実」、「想像して下さい。突然国道1号線に車も人も動物もいない。音もなく、心にささる静けさ、カラスまでいない不気味な町を |・・・・

更に、郡山市から避難されてきた、東日本大震災滋賀県避難者の会世話人代表の遠藤様より「障害のある人の防災の視点から」と題し講演をいただきました。以下、主な内容の抜粋です。 「災害発生時には冷静な判断を。集団心理に惑わされない。自

己判断力が重要」、「役にたつものはラップ(水洗いができないので食器に敷いて食事する)、懐中電灯とラジオがセットされたもの(情報が入らないから)、乾電池用充電器(電気が使えないから)」、「食器棚の固定は絶対必要(倒れると精神的ダメージが大きい、歩けない、怪我をする)」、「食料品、水は最低でも3日分(できれば1週間分)を用意する」、「障害のある人がどこに誰と暮らしているのか地域が把握する(障害者は1人では避難できない)」、「障害のある人は集団での避難生活は難しい。・・・別室スペースを設けてもらう。・・・福祉避難所が必要」等々重要なご意見をいただきました。

災害の少ない滋賀県ですが、公助を期待するのではなく、自助・・・自分でできる ことを、また災害が発生しても少しでも軽減する減災の備えを強く感じました。



平成25年度地域文化·スポーツ交流促進事業の報告 「交流会で笑顔いっぱい」

近江八幡市身体障害者厚生会

うすぐもりで外はぐっと寒さを感じる日でしたが、湖東地域(日野町)の18名をお迎えして11月11日(月)午後1時より、 当市共生センターにおいて地域交流会を開きました。

村井会長の開会あいさつ、参加者の自己紹介、活動内容について両会長より紹介・意見交換をしました。

スポーツ体験では、「肩の力をぬいて」など県障害者福祉センターの方よりご指導いただき、5名1チームで8チームが、フライングディスクとカローリングを楽しみました。

アキュラシーは10回投げて、9点の方が4名で「仲間のみなさんと楽しく出来ました。」と笑顔で話されました。ディスゲッターでは、6枚抜きが2名おられ、最高得点は32点でした。

カローリングでは、相手の玉に当たって相手の得点になって負けることがあり、「がんばろう」とチームで団結しました。

県障害者福祉センターから5名の職員さんが出前指導をしていただき、大変楽しかったです。

午後4時に日野町松本会長のあいさつで閉会となり、みんな笑顔でお別れし、「また、会おうな」と帰路につきました。



「今年も最下位でバンザイ!!」

栗東市身体障害者更生会は現在140人ほどが会員ですが、そのほとんどが 高齢者です。この傾向は何処の更(厚)生会でも同じ現象だと思います。何とか 若い会員を募っていますが、なかなか集まらないのが悩みのタネです。

そんな中、9月21日(土)に湖南地域4市(草津市・守山市・野洲市・栗東市)による身体障害者(児)スポーツ大会が、今年度は守山市が当番市として守山市民体育館で開催され、栗東からは約40人が参加しました。得点種目で頑張りましたが、応援の甲斐もなく今年も最下位に甘んじました。やはり他市に比べ、平均年齢が高いのかあるいは身体能力が低いのか・・・・。成績発表後、昨年に続き原理事長の音頭で最下位でもバンザイ三唱し、来年の草津大会で「優勝」をとみんなで誓い合いました。

栗東市身体障害者更生会



各地域・団体の活動報告

月	日	主 催	行 事 内 容
10月	5日(土)	大津市身体障害者更生会	第41回大津市身体障害者更 生会運動会(スポーツ大会)
11月	10日(日)	(社福)滋賀県視覚障害者 福祉協会	第51回近畿視覚障害者卓球 大会
11月	12日(火)	米原市障害者福祉協会	米原市障害者福祉協会総会 兼研修会
11月2	24日(日)	滋賀県手をつなぐ育成会	第48回滋賀県知的障がい者 教育福祉振興大会

◎ 事務局日誌 ◎

平成25年10月~12月

3717	7/FJ III pro									
月 日	会議・行事内容									
10月 1日(火)	第2回滋賀県障害者社会参加推進協議会									
10月 2日(水)	第3回滋賀県身体障害者福祉大会実行委員会									
10月18日(金)	第33回日身連近畿ブロック福祉大会									
	第15回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会									
10月23日(水)	第3回組織活性化部会									
10月24日(木)	地域でつながるスポーツの輪推進事業第4回実行委員会									
10月25日(金)	第4回三役会									
10月29日(火)	第3回理事会									
11月 3日(日)	第63回滋賀県身体障害者福祉大会									
11月 4日(月)	地域でつながるスポーツフェスタ2013(長浜市民体育館)									
11月 9日(土)	地域でつながるスポーツフェスタ2013(当福祉センター)									
	障害者週間啓発活動									
11月10日(日)	第5回青壮年部役員会									
11月14日(木)	要望活動(県議会)									
11月20日(水)	要望活動(知事·関係部局)									
	第24回夏まつり第1回企画検討部会									
11月24日(日)	青壮年部地域交流会in高島									
11月27日(水)	要望活動(県議会議長)									
11月29日(金)	障害者週間啓発活動									
11月30日(土)	障害者週間啓発活動									
12月 1日(日)	障害者週間啓発活動									
12月 3日(火)	第30回障害者スポーツセンター協議会									
12月 4日(水)	第30回障害者スポーツセンター協議会									
12月12日(木)	地域でつながるスポーツの輪推進事業第5回実行委員会									

JRジパング倶楽部入会について

① 会員の特典

◆JRの鉄道・航路を片道、往復または連続で201km以上 利用する場合に使えます。身体障害者手帳により購入で きる普通乗車券以外の一定の特急券・急行券・グリーン 券・座席指定券が割引購入できます。

2 入会資格

◆身体障害者手帳の交付を受けている方で、男性は満 60歳以上、女性満55歳以上の方が対象となります。 (介護者の割引については、第一種身体障害者の介護 者のみ同様の割引が受けられます。)

3 年会費

◆お一人様**1,300円**です。(入会金はいりません。)

4 入会手続き

◆詳細およびお申し込みにつきましては、当協会までご 連絡ください。

(公財)滋賀県身体障害者福祉協会

TEL: 077 - 565 - 4832 FAX: 077 - 564 - 7641



躍進する技術……信頼される技術 電気設備エ事

特定建設業山中電工株式会社

〒520-0837 大津市中庄-丁目17-39 TEL (077) 522-8038 FAX (077) 522-8099





障害者福祉センターコーナー

● ● 事 業 報 告 ● ●

■ 地域でつながるスポーツの輪推進事業

障がいのある人もない人も地域でつながるスポーツフェスタ 2013 ~新たな喜び・出会いの場~

11月4日(月・祝)長浜市民体育館と11月9日(土)当福祉センターにおいて、県と地域でつながるスポーツの輪推進事業の実行委員会が主催する「地域でつながるスポーツフェスタ2013」が開催されました。障がいのある人もない人もスポーツを楽しめるイベントを通じて、相互の交流を深める契機とするとともに、より多くの障がい者が身近でスポーツに取り組める環境づくりを進め、障がい者スポーツの裾野を広げることを目的に今年初めて開催しました。長浜市民体育館の会場には240人余、当福祉センターの会場には380人余の多くの方々にご参加いただき、障がいのある人もない人もシッティングバレーボール、車椅子バスケットボール、スポーツ吹矢、カローリング、ふうせんバレーボール、ボッチャ、フライングディスク、ビーム



ライフル、卓球、サウンドテーブルテニス等の様々なスポーツを体験し、楽しんでいただきました。

また、湖国のパラリンピック出場選手とのふれあいとして、長浜市民体育館には、シッティングバレーでパラリンピックに3大会出場した長浜市出身の田中浩二さんと、10月のアジアユースパラリンピックの車椅子バスケットボールで3位になった甲賀市出身の橋口勇喜さんによる体験指導をしていただきました。当福祉センターには、パラリンピックに2大会出場し、ロンドン大会でメダルを獲得された、栗東市出身の木村敬一さんによる、水泳のデモンストレーションと水泳競技との関わりについて話をしていただきました。

参加された多くの方々からは、スポーツを通じての交流に「新たな喜び・出会いの場」というテーマに沿った次のような感想をいただき、スポーツの楽しさを感じてもらうとともに、交流を図ることができた意義のあるスポーツフェスタとなりました。

- ・楽しかった。もっともっと取り組みたい。
- ・今回の催しは長く続けてほしい。
- ・自由にチャレンジできて良かったです。初体験でしたが本当に面白かった。時間が短かった。
- ・楽しかったです。いろいろな工夫がされたスポーツを初めて見て勉強になりました。
- ・老若男女、障がいの有無に関係なく楽しめて良かった。
- ・とても大切なフェスタですね。日頃障害者スポーツに接することがないのでこのような機会に参加することができて良かったです。少しでも障害者スポーツに理解を示してくださる方が増えると良いなと思いました。
- ・車椅子ツインバスケットボールに初めて参加した。日頃テレビで見ているのと違いがわかりとてもおもしろかったです。それぞれのスポーツにそれぞれのおもしろみがあり、またトライしてみたいです。





加者の主な



■ 第 30 回 水泳記録会

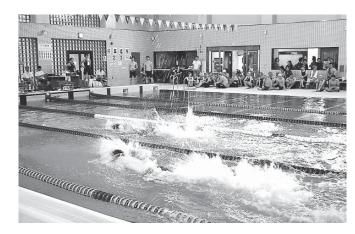
11月17日(日)に第30回水泳記録会を開催しました。今年も多くの参加者が集い大いに賑わいました。

第1部【水中チャレンジ】では、水泳を始めたばかりの人が25m完泳を目指し頑張って泳ぐ姿や障害のある人、ない人が5分間一生懸命泳ぐ姿などを見て、周りから自然と大きな声援や拍手が沸き起こりました。また、水中レクリエーションでは滑り台を滑ったり、大小様々な種類の浮島の上を渡るコースを設けて楽しんでいただき、会場が笑顔でいっぱいになりました。

また、第2部【記録会】では、各競技種目のタイムを計る記録会を行いました。日頃の練習の成果を発揮し、自己新記録で喜ぶ姿、リレー種目ではチームに関係なく応援する姿が見られ、会場が一体となり熱気に包まれました。

障害のある人とない人が共に集うことで、参加者同士の交流が図られるとともに、水泳の楽しみが一層増すことになった水泳記録会となりました。





障害者週間 感謝のつどい 〜届けよう!心を結ぶみんなの力〜

11月29日(金)と12月1日(日)の両日に「障害者週間 感謝のつどい」を開催しました。11月29日(金)は近隣施設と当福祉センターの利用者が清掃活動と防災訓練を行いました。清掃活動では、当福祉センター周辺の歩道を覆っていた落ち葉を約60人が協力し合って清掃し、歩道は1時間程で綺麗な歩道へと様変わりしました。防災訓練では、起震車での地震体験・煙中での避難訓練・水消火器を用いた消火訓練を、消防署員の指導の下で実施しました。今秋発生した台風18号による災害が身近に起こったことで、参加者の防災への意識は高く、真剣に訓練されていました。

また、12月1日(日)には体験コーナーや展示、ステージでの催しを行いました。体験コーナーでは、茶道お点前や、古新聞で作るエコバック、組み紐を行い、美味しいお抹茶に舌鼓を打つ姿、一生懸命作る姿が多くの参加者から見られ、展示では近隣施設や、当福祉センター教室受講生の作品が会場内を彩り、参加者の目を引いていました。ステージではヴァイオリン・キーボード・クラリネットによる三重奏、ダブルダッチ、バルーンショーを披露していただきました。三重奏の音色に、会場全体が温かい雰囲気になり、またダブルダッチの体験や、バルーンショーではたくさんの笑顔があふれました。

今回の感謝のつどいでは "障害に関する理解を深め、障害者の社会参加促進の意欲を高めるため" に、両日の参加者からりんご型の紙にメッセージを書いていただき、『アピールの木』と題した模造紙の木に貼っていただきました。皆さんの思いや願いを当福祉センターから大きく発信しました。







◆ 第30回障害者スポーツセンター協議会を開催しました

21年ぶりに当県が開催県となり、全国25施設から関係者が集いました。相互の連絡を緊密にし、センター事業の振興・発展と障害者スポーツの振興に寄与することを目的として毎年1回開催されているもので、当日は、施設長会議と実務担当者会議に分かれて、運営にかかる諸問題や、現場における課題についての情報交換や意見交換が熱心に行われました。



◆ 体力測定・トレーニングアドバイス

10月23日(水)に開催した当教室は、当福祉センターへトレーニングやリハビリに来られている方々が多く受講され、現在の体力と日頃の成果を確認されていました。

測定結果を基に理学療法士からアドバイスを個別 に受けて、受講者は、それを今後の課題やモチベー ションとしておられました。



◆ 水泳教室

9月7日(土)から11月24日(日)まで、水泳教室を開催しました。泳力別に初級、中級、上級クラスに分かれて全6回実施しました。初級クラスでは伏し浮きや水中での体の使い方、中級クラスではクロールを目標とした基礎練習、上級クラスではスタート練習と併せて、クロールと背泳ぎの練習を行いました。楽しい雰囲気の中にも、懸命に練習する姿があり、個々の成長を感じることができた教室となりました。



◆ 地域文化教室(湖北圏域)

今年度は、地域文化教室(湖北福祉圏域)を11月10日 (日)長浜市保健センターびわ分室にて開催しました。

この教室は、遠隔地にお住まいの方に在住地近隣で開催することにより県民サービスの均一化を図るため、平成21年度から県内福祉7圏域で行っているものです。

今回は、プリザーブドフラワーを使ったクリスマス アレンジを作成し、和気あいあいと楽しい時間を過ごし ていただくことができました。



第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」

10月12日(土)から10月14日(月・祝)まで第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」が、2020年に夏季オリンピック・パラリンピックの招致が決まり、大いに盛り上がっている東京で開催されました。

滋賀県選手団は67人(当福祉センターの指導員も役員として参加)が参加し、大会新記録や多くの自己新記録が生

まれ、各競技で素晴らしい成績を収めることができました。代表選手の中には当福祉センターの教室である「水泳選手育成」受講者の丸山浩平さんと山田雅徳さんも参加され、健闘されました。また、様々な場面で交流があり、全てを含めて大会を通して選手には多くの成長がみられ、改めてスポーツの力を感じることができました。今後も、本大会に向け当福祉センターとして応援していきたいと思います。



● ● ● 事業案内·報告 ● ●

◆ 将棋と囲碁のつどい ~プロ棋士を迎えての対局指導~

プロ棋士の方と対局できるチャンスです。一度プロの方の指導を受けてみませんか?

日 時: 【将棋】 2月23日(日)

13時00分~16時00分

【囲碁】3月23日(日)

13時00分~16時00分

場 所: 当福祉センター 会議室

対象者:障害のある人、障害のない人

定 員:将棋·囲碁各先着 20人

(うち障害のない人は、各先着 7人まで)

費 用:無料

内 容:将棋と囲碁のプロ棋士を迎えての対局指導

【将棋】プロ棋士 南 芳一(九段)の多面指しによる対局指導 【囲碁】プロ棋士 山田 至宝(七段)の多面指しによる対局指導

(1人最長 45分。対局時間は当日抽選)



<囲基> 山田 至宝(七段)



<将棋> 南 芳一(九段)

◆ ヘルシークッキング教室

「家庭でできるエコクッキング」の講義の後、季節の食材を用いてお料理を作りましょう!

日 時:3月8日(土)10:00~14:30

場 所:大阪ガスクッキングスクール滋賀

(草津市西大路5-34)

対象者:障害のある人とその介助者

定 員:18人

費 用:受講料は無料(ただし教材費1,500円が必要)

受付時間:1月25日(土)~2月16日(日)

平成26年度 年間日程調整会議

日 時:平成26年2月16日(日) 午前10時~

場 所: 当福祉センター会議室

※原則として会議前日までに日程が決定されている大規模な大会、 行事等で有効的な施設利用の調整を目的に開催します。

<会議への参加対象団体>

- 1. 障害者(児)または、その保護者等で組織する団体(組織)
- 2. 当福祉センター登録クラブおよび障害者で組織するスポーツ同好会
- 3. 障害者(児)施設、特別支援学校(特別支援学級を含む)
- 4. 障害者(児)に関わる行政、医療機関、団体等
- 5. その他、当福祉センター所長が特に必要と認めたもの ※会議によって対象を制限するものもあります。

<調整の対象となる内容および優先順位>

- 1. 県が主催、共催または主管する障害者を対象とした大会等の事業
- 2. 全国規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または主管する大会等の事業
- 3. 近畿規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または 主管する大会等の事業
- 4. 県内の各障害者団体が主催、共催する年1回程度の大規模事業で、多数の参加が見込まれるもの(アーチェリーや会議室を全面必要とする大会、研修等)
- 5. 県が主催、共催または主管する健常者も対象として開催 する研修会等
- 6. その他、当福祉センターの所長が特に必要と認めたもの ※上記に該当しない場合には、利用申請はできないものとします。

皆様のご利用を職員一同心よりお待ちしております。

クイズコーナー

ご応募頂いた個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、クイズ コーナーの事務にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

次の①~⑤のヒントを参考にして□の中の故事·ことわざをうめてください。 最後に(A) ~(E)の文字を順番に並べたものが答えとなります。

回回 ヒント 回回

- ①子の才能は親に似るものである、というたとえ。平凡な人の子はやはり平凡人であるという意味。
- ②性格や考え方、趣味などが共通しているもの同士は気が合うので、自然に寄り集まって仲間を作るという意味。
- ③もとは仲のよい兄弟でも、成長するとそれぞれ家庭を持ち、配偶者や子の愛にひかれて疎遠になり、ことに利害がからむと他人のようにいがみ合うものだといういうこと。
- ④空を飛んでいる鳥でさえも圧倒されて地に 落ちるほどの勢いということで、権力や威 勢が盛んな様子のたとえ。
- ⑤よいもの、すばらしいものを同時に二つ手に入れることのたとえ。特に男性が左右に 女性を置いている場合にいう。

《応募方法》

ハガキに住所、氏名、電話番号、クイズの答え、広報誌に対するで感想等をで記入の上、下記までで応募ください。正解者の中から、3人の方に、記念品をお送りします。なお、応募の締め切りは、2月末日までの消印のあるものを有効とさせていただきます。

	か	え		の			(A)		る				
2	(B)	い			#		Ή	ıζï					
3	き			だ		は	(C)		h	の	は		り
4	ک		(D)	り		お		す				し	
5	(E)		う		ات		な						

- *前回のクイズの当選者(応募総数:41通)
 - ·三浦 明美 様 (栗東市)
 - ・北川 正子様(長浜市)
 - · 谷本 修一 様 (甲賀市)
- *前回のクイズの答え → <u>あかとんぼ</u>
 - ① 備えあれば憂いなし(そなえあればうれいなし)
 - ② 四面楚歌(しめんそか)
 - ③ 足下を見る(あしもとをみる)
 - ④ 喧嘩両成敗(けんかりょうせいばい)
 - ⑤ 痘痕もえくぼ(あばたもえくぼ)

〒 525-0072 草津市笠山八丁目 5 番 130 号 (公財) 滋賀県身体障害者福祉協会 県身協クイズの係 まで

読者から<u>の声!</u>

- ●実はこのような広報誌があることを初めて知りました。家族や身近に障害のある人が、助け合い生きる希望や勇気のもてる場があることはとても大切なことです。 是非このような広報誌で、知らない人も気づいていけるようなものを広げてほしいと思います。(東近江市・女性)
- ●9月に「3市合同グラウンドゴルフ大会」に参加しました。一日身体を動かし、楽しい一日でした。(湖南市・女性)
- ●東近江市身障厚生会の記事を読んで、「七タカラオケ大会」での短冊づくりは、良い アイデアだと思いました。(彦根市・男性)
- ●各地域における、さまざまな催し等皆様の活躍ぶりがうかがえました。前向きに楽しく取り組んでおられる様子に感動いたしました。(甲賀市・女性)
- ●「障害者」を「障がい者」と書いてあるのをよく見かけます。理由は、「害」という漢字の意味が良くないからということらしいですが、それなら「障」の字も「邪魔をする、妨げる等」決して良い意味ではありません。こんな理由で漢字狩りをすることは、日本語の衰退にならないかと心配です。表現・表記よりも心の持ちようだと思います。(高島市・男性)
- ●障害者に対する差別は、少なからず現在もあります。でも健康な者でもいつ障害者になるかもしれません。差別解消法は、大賛成です。(日野町・女性)



次号(第104号、3月10日発行)に 伴う原稿締切日は2月9日(日)と させていただきますので、よろし くお願いします。

毎週金曜日はノーマイカーデーです!

ワンコインエコパス(**)を使って週に一度はエコ通勤を!

※毎週金曜日に1乗車100円で「バス:県内全域/鉄道:近 江鉄道全域」が利用できる証明書です。詳しくは滋賀県 交通政策課ホームページをご覧ください。

びわこ京阪奈線(仮称)鉄道建設期成同盟会・琵琶湖横断エコ交通推進協議会

编集後記

新年あけましておめでとうございます。ご家族とゆっくりお正月をお過ごしでしょうか?

「滋賀県身協」(第103号)ができあがりましたのでお届けします。

昨夏は、高知県四万十市でこれまでの国内最高気温を更新し41.0℃を記録、また気象庁の927観測点のうち143箇所でもこれまでの最高気温を更新するなど、各地で記録的な猛暑となりました。また、局地的な豪雨、竜巻、多くの台風の発生・通過そして運用開始後初となる「特別警報」が本県でも発令されるなど、まさに「異常気象」の1年でした。11月に開催した滋賀県身体障害者福祉大会のスローガンにもあるように、いつ何時災害にあうかわからない今日、早期に災害時の要援護者名簿が完成され、避難支援対策が整備されるよう働きかける必要性を改めて強く思いながら、本年こそは穏やかで過ごしやすいことを願うばかりです。

さて、本県においては、「新・障害者福祉しがプラン」により必要なサービス提供体制等取り組みが進められており、国においては、「障害者差別解消法」が成立し、今後必要な規程整備が行われます。障害の有無によって分け隔てられることなく、「共に生きる社会」の実現に向けて、私たちの声をこれからも届けていきましょう。

最後になりましたが、本年が皆様にとって健やかで幸多き年になりますようお祈り申し上げますとともに、寒さ厳しき折、お身体にはどうぞお気をつけてお過ごしください。

。本年もより一層のご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

(編集子)

編集発行 公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会 会長 中村 裕次 滋賀県立障害者福祉センター 所長 山脇 治 〒525-0072 草津市笠山八丁目5番130号 電話:077-565-4832 FAX:077-564-7641 E-mail:info@kenshinkyo-shiga.com http://www.kenshinkyo-shiga.com